



年度末に際して

中庭に紫色の木蓮が咲き誇り、春の訪れを告げています。街中では梅の花が散り始め、桜の蕾が膨らみ始めています。季節は着々と変化しており、私たちは自然の中で生かされていることを実感しています。

学校の一年もまとめの時期を迎えます。明日（25日）は今年度の修了式です。そこで話す内容を、以下にお伝えします。



2学期の終業式では、「節目となる時期に適切に『振り返り』を行い、成果や課題を整理し、その後の改善活動につなげて欲しい」とお話ししました。学年末はまさにその時期です。4月から次の学年に進級します。「PDCA」の考え方を活用して、うまくいっていることは更に伸ばし、課題となっていることについては、その改善に向けて具体的に何をすれば良いかについて、考えることが重要です。また、新たな目標に向けて頑張ることも大切でしょう。ただ、すべての課題や目標に全力で取り組むと、疲れてしまったり、努力が続かなくなってしまう場合もありますので、無理をしないで、できることから少しずつ頑張るようにしてください。うまくいかなかったことは、適切にリセットすることも有効だと思います。要は仕切り直せば良いのです。そうは言うものの、何か目標を持って取り組んで欲しいので、以下にいくつかのテーマを示します。自分にあったもの、できるものに取り組んでみてください。可能ならば来年度を待たず、今日から始めてみてください。

「自分のことは自分でする」 「時間を守る」 「すると決めたことに毎日取り組む」

「自分の思いや考えを、適切に伝えられるようにする」 「身の回りを整理整頓する」

「多少のことは我慢する、うまくいなす」 「わからないことをそのままにしない」

「約束を守る」 「身体を動かす」 「周りの人に迷惑をかけない、周りの人に優しくする」

いろいろと例を挙げましたが、最後の「周りの人に迷惑をかけない、周りの人に優しくする」については、是非全員に取り組んで欲しいと思います。このことは、毎日の生活はもちろんのこと、部活動の様々な活動の場面や、言葉やSNSでのやりとりについても同じことが言えます。

これらのことは、実はみなさんが社会において、確かに、そしてしあわせに生きていくためにどれも大切なことですので、できることから一つずつ身に付けていってください。

春休みはリセットするだけでなく、リフレッシュしてください。そして、元気な身体と心、新しい目標や意欲を持って、みなさんと一緒に希望に満ちた新年度を迎えたいと思います。

問題解決能力とは

「問題解決能力」という言葉をよく耳にすることと思います。四日市市においても、その能力向上を指導方針の重点に挙げています。来年度の本校の「学校づくりビジョン」にも、その言葉を取り入れようと考えています。四日市市教育委員会が発行している冊子には、「解決の道筋がすぐには明らかでない問題に対し、身につけた知識・技能や収集した情報、体験等を活用し、



問題を解決していく力」と定義しています。また、「問題解決能力を育成することにより、子どもたちは自分で学習する力を身につけるとともに、社会的・職業的実践力を発揮して社会に貢献し、社会人としてよりよい成長をすることができるものと考えます」とも書かれています。

これだけでは少しむずかしく感じるとおもうので、わかりやすく解説してみたいと思います。

みなさんも実感しているように、社会には様々な問題や課題があります。最近では、コロナウイルス感染症に関することや、ウクライナ情勢などが国際的な社会問題です。また、地球環境についても大きな問題となっており、その解決のために「SDGs」として広く知られている「持続可能な開発目標」が、国連総会で採択されました。最近では各自治体や企業も、この目標を掲げて達成に向けて取り組んでいます。なんだか、とてもスケールが大きな取り組みで、自分たちの生活とは直接関係ないように思ってしまうかもしれませんが、しあわせに健康的に生きることはすべての人の願いですし、そうなるように私たち一人ひとりが取り組んでいく必要があります。

それでは、身近なことで考えてみましょう。学校も一つの社会ですし、学級や部活動も同じです。その中でも、様々な問題が起こっていると思います。「何も問題はない」と思う人もいるかもしれませんが、なかなか意見がまとまらなかったり、物事がうまく進まなかったりすることは必ずあるでしょう。また時には、嫌な思いや辛い思いをしている人がいたこともあるでしょう。みなさんは、そうした問題をそのままにせず、仲間と協力して解決してきた経験がたくさんあるのではないのでしょうか。そうしたことも「問題解決能力」の一つなのです。ケンカした友達と仲直りすることもそうです。できなかったことをできるようにすることもそうです。

学校だけでなく、何も問題のない社会は、残念ながらありません。大切なことは、問題があった際にそのままにせず、「知恵と思いやり」で解決していくことなのです。ですからみなさんは、授業で学んだり学校行事等で経験したりすることで身につけた知識・技能を活用して、問題を解決していく力を高めていく必要があります。自分のために、社会のために必要な能力なのです。

保護者の皆様へ

一年間、本校での教育活動においては、行き届かない点もあったことと思います。コロナウイルス感染症の影響で十分実施できなかったこともあります。それにも関わらず、温かいご理解と多くのご協力をいただき、誠にありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。